

WEB formosus(フォルモス) vol.52

*formosus*とはラテン語で「美」を意味します。古代ローマに造られた建築の美しさを表現したものです。東北の豊かで美しい自然を生かした社会資本整備には「用・強・美」が必要であり、集大成された「美」を追求していきたいとの思いで本誌のタイトルにしています。

国土交通省 東北技術事務所 電子広報誌 WEB formosus(フォルモス)発行事務局 発行2023.4.12



東北インフラDX人材育成センター 始動！

目次

- ◆東北地方のインフラDXを牽引する新たな拠点が誕生！
- ◆「東北道路メンテナンスセンター」の開設
- ◆体験型土木構造物実習の紹介と令和4年度開催状況報告
- ◆体験型河川堤防等実習施設の利用者を募集しています
- ◆建設技術公開E E東北'23 まもなく開催！、あとがき

ページ

- 2
- 3
- 4
- 6
- 7

東北地方のインフラDXを牽引する新たな拠点が誕生！

東北技術事務所では、官民連携による東北未来「働き方・人づくり改革プロジェクト」を推進する拠点として、東北インフラDX人材育成センターを令和5年3月28日に開所しました。

東北インフラDX人材育成センター開所式

開所式では、看板の除幕からはじまり、蒔苗教授による祝辞、整備局長による建設業界におけるDX推進の意義に関する挨拶のほか、事務所長によるセンターの設置目的を含めた施設説明が行われました。

看板除幕



整備局長挨拶



蒔苗教授祝辞



事務所長施設説明



東北インフラDX人材育成センター施設案内

開所式終了後に施設案内を実施しました。各研修メニューの特徴や効果等を紹介するとともに、実際に各種デジタル技術を活用した研修教材に触れて頂き、これからの人材育成を支える拠点施設の機能を体感して頂きました。

人材育成ルーム



XR体験ブース



シミュレーターブース



DXプレゼンルーム



「東北道路メンテナンスセンター」の開設

「formosus(フォルモス)」ご愛読の皆様。

はじめまして。今年度新たに設置されました「東北道路メンテナンスセンター」センター長の石津と申します。

この度は、「formosus」におきまして、「東北道路メンテナンスセンター」（以下、「東北MC」）紹介の機会をいただき、ありがとうございます。



「東北MC」は、東北技術事務所の所掌事務である、技術支援、人材育成支援のうち、「道路の保全」に係る業務を継承するとともに、国および地方公共団体が管理する道路において高度な技術を要する修繕工事、維持その他の管理を所掌することとされ、「道路の保全」に関して幅広かつ技術的に高度な業務を所掌する機関です。全国では、関東、中部、近畿、中国、九州に続き、6番目の道路メンテナンスセンターとなります。

当面の主な業務は、東北地方整備局管内の直轄国道の橋梁の点検・診断、道路メンテナンスに係るデータの管理・分析および地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習会などに加えて、令和4年3月に発生した福島県沖地震で損傷が確認され、福島県からの緊急要望を受け実施した「直轄診断」を経て、今年度「修繕代行」として事業化した「伊達崎橋」の対応も行っていくこととなります。

執務は、東北技術事務所庁舎2階において、センター長以下、保全対策官、総務課3名、技術課3名の総勢8名体制でのスタートとなります。

新設の組織で不慣れなことも多々あるかと思いますが、「東北MC」の職員がワンチームで、より戦略的、効率的なメンテナンスの提案、地方公共団体への的確な助言や支援ができる専門性の高い組織として、業務を遂行して参りますので、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

東北道路メンテナンスセンター長 石津 健二



実物大の臨場感で

“見て、触れて、考える”

～体験型土木構造物実習の紹介と令和4年度開催状況報告～

工事監督・検査に対応する技術の習得や施工順序、品質の良否判定等の基礎技術や判断技術を習得することを目的とした、実践的な施設で、実物大の構造物を使用した実習施設としては東北唯一のものです。

～施工順序、名称・種類、施工上の留意点を学ぶ～



なぜこうなるのか?防止方法は?品質にどう影響があるのか?

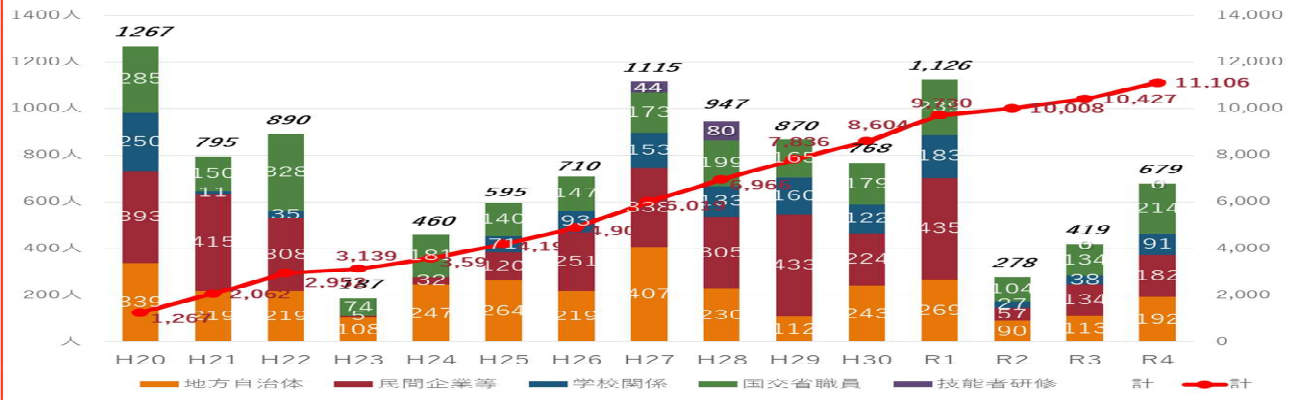


利用者の声

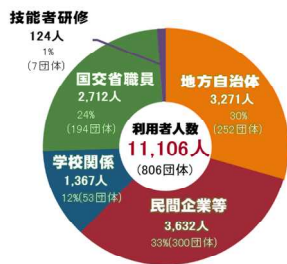
- 大変分かり易く新しく知った事と今までの経験の知識の整理が出来た。(建築系企業技術者)
- 印象に残りやすい説明が勉強になり、不具合を防止する意識が強くなりました。(土木系企業技術者)
- 構造物を実物で学ぶ機会が少ない中、実物を見ながらでとてもよい。(土木系地方公務員)

延べ利用者 11,100人 到達！

体験型土木構造物実習施設利用者の推移



2008(H20)～2022(R4) 利用者内訳



2022(R4) 利用者実績



誰でも利用できます。是非ご利用ください！

工事現場(作業所)単位でもご利用いただけます

利用申込書は、東北技術事務所のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/gijutsuryoku/jinzai/taikengata.html>

利用希望日の14日前までに申込書を下記アドレスに送信してください。

Eメールアドレス thr-tougi02@mlit.go.jp

体験型土木構造物実習施設のコース概要

コース名	体験実習概要
基本コース	コンクリートⅠ (60分程度) 【不適切施工】 コンクリート構造物の不適切な施工による、材料分離・豆板・コールドジョイント等の不具合事例について、発生原因や防止方法を学習。
	コンクリートⅡ (30分程度) 【表層品質と耐久性】 コンクリート構造物の施工の丁寧・不適切な違いによる表層品質や耐久性への影響を学習。(表層透気試験、表層吸水試験、凍結融解試験等)
	コンクリートⅢ (60分程度) 【非破壊検査】 コンクリートの品質等の確認のための非破壊検査の方法や使用上の注意点を学習。 ・テストハンマーによるコンクリート強度の推定 ・鉄筋探査器によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定
オプション	橋梁上部工 (30分程度) 【鋼箱桁、PC桁、損傷RC床版】 東日本震災による被災橋梁および塩害等で使用不能となった橋梁の上部工モデル(実物)により、構造型式、被災状況、劣化損傷状況を学習。 [対象橋梁] 鋼橋: 鋼箱桁、RC床版 PC橋: ポストテンション方式T桁、プレテンション方式中空床版桁
	橋梁下部工 (15分程度) 【配筋、耐震補強】 橋梁下部工モデルにより、鉄筋組み立て状況や耐震補強工法の概要を学習。

体験型河川堤防等実習施設の利用者を募集しています

どなたでも無料で利用できます。是非一度ご体験ください。

実習施設の詳細、
利用申込みはこちら

体験型河川堤防等実習施設の紹介動画を掲載していますのでどうぞご覧ください。
<https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/gjiutsuryoku/jinzai/kasenshisetsu.html>

実物大の臨場感で、「河川」の点検技術を学ぶ！ 体験型河川堤防等実習施設



体験型河川堤防等実習施設は、堤防等の異常箇所(変状)が常に確認できるように**不具合を再現した実物大の河川管理施設**です。

河川における技術力向上、人材育成を目的として、「見て、触れて、考える」をコンセプトに堤防等の河川管理施設の点検・評価の技術を習得する**東北地方唯一の体験型実習施設**です。

<実習施設に再現している変状の一例>



堤防の陥没



堤防天端の亀裂



堤防法面のはらみ出し



堤防法面の浸食(ガリ)



堤防法面の法崩れ



樋門函体の豆板

<実習状況の一例>



堤防の上げ上がりの計測



堤防天端の亀裂の計測



堤防法面のはらみ出しの計測



建設技術公開 E E 東北'23 まもなく開催！ 2023年6月7日～8日 夢メッセみやぎほか



建設技術公開 E E 東北は、建設事業に係わる新材料、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて、社会に寄与することを目的とし、平成2年から毎年開催しています。

32回目の開催となるEE東北'23は、2023年6月7日(水)～8日(木)に夢メッセみやぎ（仙台市宮城野区港3-1-7）ほかで開催します。

建設技術の今を体感できるEE東北'23にぜひご来場ください！

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催内容が変更等になる場合があります。

EE東北'23の詳細や最新情報については専用HPをご確認ください。

<https://ee-tohoku.jp/ee23/index.html>



QRコード

あとがき

春爛漫のみぎり、桜の花も足早に北上し、汗ばむ季節となりました。

この時期新たなスタートとして、建設業界全体の人材育成拠点となる「東北インフラDX人材育成センター」を令和5年3月28日に開所しました。国土交通省のDX人材育成センターは、関東、中部、近畿、九州の次となり、5番目の開設となります。

東北の特徴は、雪国特有の課題である除雪において、除雪グレーダーのシミュレーターを活用した担い手育成に取り組むことと、民間技術者も含めたデジタル技術に対応できる人材育成の取り組みを行い、一般の方も含め体験ができる施設として整備しました。本格的に運用するのは5月以降を予定しており、WEB formosusやホームページの新着情報で掲載いたします。

最後に、東北技術事務所も模様替えしていますので、ぜひお越しをお待ちしております。

(S記)

発行元

国土交通省 東北技術事務所 WEB formosus(フォルモス)発行事務局

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6-1 TEL022-365-8211(代表)

フォルモス事務局 品質調査課

FAX 022-365-7988

E-mail : thr-tougi02@mlit.go.jp

事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/index.html>